



2016 前期の活動から

みんなの学校（大阪市住吉区立大空小学校）

昨年観た映画「みんなの学校」が、9月22日、大牟田文化会館で上映されました。この映画の舞台大阪市住吉区の公立大空小学校は、どんな障がいがあっても普通教室で共に学び、不登校も0の学校です。1月には、県下の仲間の議員と共に大空小学校を訪れ、飾らないありのままの子ども達や先生方の姿を拝見してきました。また、



7月に、荒尾市の講演会で、初代校長木村泰子先生（昨年3月ご退職）のお話を伺いました。「どの子ども安心して来れるのが地域の学校のはず」と全教職員や地域に訴え、共に厳しい子どもの現実に向き合いそれを実現されてきた取り組みです。多くの不登校の児童生徒がいる本市はしっかりと学ぶ必要があると思います。

9月議会 9月5日～29日

昨年度の決算審査（20日～26日）を挟みますので9月は長丁場です。13日一般質問を行いました。（詳細は裏面に）当日は、たくさん傍聴に駆けつけていただきました。本当にありがとうございました。



大牟田市母と女性教職員の会 講演会

9月17日、大牟田市母と女性教職員の会市大会が開催され、講演会が行われました。

講師は吉村春生先生（臨床心理士）演題は「心がかぜをひくとき」

いじめや不登校、引きこもりなど子どもの厳しい状況がなぜ増えているのか。背景は心のエネルギー（安心感）不足。容量には個人差があり、感性が鋭い子ほど周りの空気や評価を敏感に感じて負の感情をため込み、ある時、いっぱいいっぱいになる。子どもの安心の支柱である母親も安心できる環境が減っている、など、佐賀の「きみまる」と言われておられる吉村先生の講演は、笑って、泣いて、とても心にしみのお話です。（詳しい講演内容はぜひネットで検索を）

※ 母と女性教職員の会の活動の一環として、今年も11月には市長と教育長に陳情を行います。

「格差と貧困のないデンマーク」

9月19日 北欧デンマークから学ぶセミナー

～女性の政治参加が住みよい社会をつくる～（熊本 パレアホール）

国民の幸福度世界一の国デンマークの市議アンニャロン・クリステンセンさんと、デンマーク在住約50年、研修施設なども設立され、デンマークと日本を繋ぐ活動しておられる千葉忠夫さんの講演、そして、地元議員や弁護士によるシンポジウムが開催されました。社会福祉国家、真の民主主義は早い時期からの女性の政治参画で実現しています。経済大国ではないけど、安心して生きられる幸せ大国。「こんな国を子や孫には伝えたい」フィンランドやオランダについての研修をした時もそうでしたが、今回も、強く思いました。



大牟田市議会議員 平山光子活動報告

つなぎのあついで元気にな

No.58
2016 秋号

各地で相次ぐ自然災害

7月末から殆ど雨らしい雨は降らず、8月は、連日最高気温が37度超え・・・、9月になると相次ぐ台風接近に戦々恐々とする日々が続いています。これまで災害が少ないと言われていた大牟田市でしたが、今年になって、凍結による断水、大きな地震、ゲリラ豪雨、そして酷暑と、大変な状況が続きました。



災害の備えは自助が基本

自然の厳しさや、災害のリスクと隣り合わせに暮らしていることを改めて認識しなければなりません。

市では、今回の災害から得た様々な教訓をもとに、避難所設置の条件や、広報、支援のあり方など見直しが行われました。

各家庭でも、安全対策、備えの見直しが必要ですね。



大規模な災害時、公助はすぐには届きません。まず備えを！

防災対策室

平山光子後援会
 事務所 大牟田市原山町1-5 0944-53-1661
 自宅 大牟田市倉永165-1 0944-58-1252
 携帯 090-9077-0226
 メールアドレス mitsuko2007@tngbbjap
 ホームページ www.mitsuko-hirayamanet
 フェイスブック www.facebook.com/mitsukohira7



「FMたん」と（地域放送局）が開局

大牟田市、みやま市、荒尾市をエリアとするコミュニティ放送局が7月に開局しています。役所の取り組み、イベント等、地域の情報が満載です。私は、車のラジオをFM79.3に設定して聞いています。災害時には、なかなか届きにくい市からの情報を、いち早く届けることが出来ること期待されています。

「がんばらない生き方」って？

9月24日 大牟田市健康づくり市民大会
 鎌田實先生の講演 「がんばらないという生き方」
 諏訪中央病院の医師として、長野県の健康づくりの土台を作ったこれ、チェルノブイリや福島、最近では紛争地域の難民支援にも取り組んでおられる鎌田先生のお話を聞きました。



講演後サインされる鎌田先生

「健康はそのこと自体が目的ではなく、幸せに生きることが目的、そのために健康を目指したい。健康長寿のためには、
 ○食事は、減塩、野菜、魚、発酵食品を摂る。
 ○少しだけ人のために生きる（幸せホルモンが出る）
 がんばらない生き方とは、時々がんばらない時間をもち、副交感神経を高め（リラックとして）免疫力を高める生き方上手のことだ。鎌田先生の生き方そのものだと思います。」

9月議会

平山光子 一般質問報告

1 主権者意識の現状と

求めらるる主権者教育について



昨年6月の代表質問でも取り上げましたが、総務省「常時啓発事業のあり方等研究会」の最終報告書「主権者教育へ」には、「学校教育の中で過度の抑制が働き、必要な政治教育が行われてこなかったことが若者の政治離れにつながっている」と繰り返し指摘されています。この指摘を中心に質問しました。

1. 参議院議員選挙の結果と今後の常時啓発

「18歳選挙権」が導入された参議院選挙、本市の20歳代の投票率が33.02%、19歳が37.36%だったのに対し、18歳は47.73%でした。高校での出前授業や模擬投票が行われた成果と言えます。選挙管理委員会には、今後も主権者教育に力を入れること、また、最終報告書に指摘されている「明るい選挙推進協議会」の組織や取り組みの活性化を図ることについて要望しました。

2. 常時啓発事業のあり方等研究会最終報告書が求める方向

質問 最終報告書には、「若者の政治離れが学校教育と深く関わっている。政治的テーマを取り扱うこと自体が政治的中立性に触れるとしてタブー視されてきた」と指摘し、新たな主権者教育の展開を求めている。教育委員会の見解は。

答弁 教育基本法を遵守し、発達段階や学校の実情に応じて、具体的な実践、体験活動等の授業を工夫するよう指導していきたい。

要望1 学校では、過度の抑制が働いたままで、政治的テーマを取り扱うことは中立性を逸脱しているといった認識が広がっている。教職員を萎縮させることなく、求められている新たな主権者教育の創意工夫ある実践が進むような指導を要望する。

三 教育環境の諸課題について

1. 学校トイレの改修

学校トイレは、全国的に整備が遅れており、5k(臭い、汚い、暗い、怖い、壊れている)と言われます。子ども達が一日の大半を過ごす学校施設は適切な環境を保つことが必要で、改善を求めました。本市の学校トイレ洋式化率は昨年度、全体で51.6%、また、50%未満の学校が67%あり、今後は学校の要望意見を受け各学校で50%以上になるよう取り組んでいきたいとの答えでした。

質問 質問準備の中で県全体で改修が遅れており、大牟田市は進んでいる方だとわかりました。(主として市の中心部で)

2. 就学援助

2014年12月議会で質問した対象品目の拡大や修学旅行費キャンセル料についてのその後の検討、福岡市などで実施している新入学児童生徒学用品費(入学準備金)を前倒しすること、修学旅行費の上限額が文科省の基準額よりかなり低いこと(他市は上限を基準額、又は実費)等について質問し、改善を求めました。キャンセル料については事情に応じて検討するという回答がありました。

3. 不登校の現状と支援

質問 本市の不登校の現状と現状についての見解は。

答弁 平成27年度は小学校56名(15名増)、中学校131名(22名減)が不登校。中学校は改善傾向だが、厳しい状況にあると認識している。

質問 全体の人数も減っている。出現率ではどうか。

答弁 小学校が1.04%、中学校は4.86%。

要望 2012年の中学校出現率は4.83%で改善傾向とは言えない。2007年から調べているが、5%前後が続いている。本市の不登校の出現率(割合)は全国や福岡県平均に比べて倍近く深刻。

本市は、特徴的な取り組みが進められているが、やり過ぎるとマイナスでは。子供に関わる教師の時間を奪ってはいないか。現場の意見を聞き、安心して学べる楽しい学校づくりを進めていただきたい。

2014(H26)年 不登校出現率(復帰率)

	大牟田市	福岡県	全国平均
小学校	0.76(29.3)	0.37(41.2)	0.4(33.2)
中学校	5.48(19.6)	3.05(33.2)	2.88(31.0)

要望2 あらゆる世代が、政治的リテラシーや主権者意識を高めるための学習の場として、公共施設の役割は重要。政治的テーマでの学習会には使えないといった誤解がないよう、規則に沿って適切な運用を。

1 第2次大牟田男女共同参画プランについて

男女共同参画社会の実現は、国の緊急重要な課題であるとして1999年、男女共同参画社会推進法が制定され、2006年には大牟田市でも条例が作られ、取り組みが進められています。しかし、管理職の比率や、就労環境、賃金格差を見ても明らかのように、日本は、女性個性や能力に応じて十分力を発揮できる社会環境が十分ではありません。世界経済フォーラムの男女平等指数でも145カ国中、101位という大変低い評価です。本市でも、男は、女は、という固定的役割意識が未だ根深く、意識啓発が大きな課題です。

1. 取り組みの進捗と課題

現状や展望と、意識啓発の取り組みの成果と課題について尋ね、市長からの積極的な発信と、市民が広く目にする広報おむたを使った啓発など、当局の一層の取り組みを要望しました。

2. 男女混合名簿の実施状況

質問 公簿(出席簿等)で性別によらない名簿(男女混合名簿)を使用している学校数は。

答弁 小・中、特別支援学校30校のうち23校。

質問 本市で混合名簿が進まない中、推進委員から、意識の問題が指摘され、学校で研修を深めるよう意見が出されている。研修の状況は。

答弁 男女共同参画教育について職員研修を深めるよう指導している。

要望 講師を招いて研修を行った学校もあれば、わずかな時間で管理職が触れただけ等、研修や教職員の意識について大きな差がある。混合名簿未実施校には、実施校の評価を届ける等、積極的な指導助言を。

9月議会・決算特別委員会報告

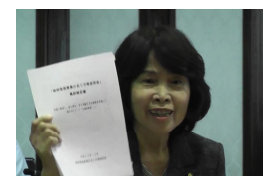
大牟田市庁舎の耐震診断に補正予算

大牟田市役所は、昭和十一年に建設された文化財にも指定されていますが老朽化が進んでいます。熊本地震では宇土市等、各地で庁舎が崩壊し、大牟田市の庁内でも、また市民の方からも不安の声が上がり、平成31年度に実施予定だった耐震診断が前倒して実施されることになりました。(9月の補正予算で約3600万円)

もし、診断結果で建て替えが必要となった時は少なくとも約60億円の財源が必要との試算ですが、本市の庁舎建設積み立て基金は昨年末現在16億9千万円ほどしかありません。市は、最低でも20億円は積み立てたいとして、今年度から毎年1億円ずつ4年間積み立てる予定です。

決算特別委員会での平山光子の意見要旨

- 児童保育所(クラブ)の整備⇨夏休み期間中も含めて、希望する児童全員が入所できるよう整備を。(保健福祉部へ)
- 住基カードによる証明書のコンビニ交付⇨市民の利便性と事務の効率化を目指すとして導入されたが、交付件数は当初の目標を大きく下回っている。(マイナンバーカードでの交付を進めているが)高齢化の進む本市に合わせた市民サービスの向上に努められたい。(市民部へ)
- 特別支援教育支援員について⇨学校からの要望に応える必要配置ができるよう、支援員の配置数や勤務時間等の充実を。(教育委員会へ)
- 本市児童生徒の不登校について⇨大変厳しい状況が続いており、本市の将来に関わる問題でもある。学校現場の教職員の声もしっかり把握し、改善に向けさらに努力を。(教育委員会へ)



○男女共同参画施策の推進について⇨広報おむたでの更なる周知や、イベント企画の工夫等を通して、市民意識の更なる啓発を。(市民協働部へ)